



RECYCLE

— 循環型社会をサポート —

廃棄物を無駄なく資源に



セメント工場は究極の資源リサイクル工場

セメント産業は、『静脈産業』の代表格です。これは、約1,450℃の高温焼成炉「キルン」というセメント製造設備において、さまざまな廃棄物（以下、リサイクル資源という）が《焼成・焼却》されるため、それら全てが原料・石炭代替として再資源化され、さらに、排ガスによる二次公害（ダイオキシン類の発生など）の心配もないからです。

日鉄セメントは、リサイクル資源の有効活用を積極的に推進し、循環型社会の構築に貢献できるように努めております。

セメント製造における再資源化の3大特徴

I. 環境保全に配慮した再資源化方法です。

- ① 焼成炉（キルン）の焼却温度が高く（約1,450℃）、電気集塵機などの公害防止設備により環境へ十分配慮しています。
- ② リサイクル資源は、全て焼成炉（キルン）でクリンカー（セメント半製品）に生まれ変わり、二次廃棄物の発生は《ゼロ》です。

II. 大量処理を実現します。

- ① 焼成炉（キルン）でのクリンカー生産能力（日産約3,000T）を最大限利用し、厳重な品質管理の下、さまざまなリサイクル資源を大量に再資源化します。

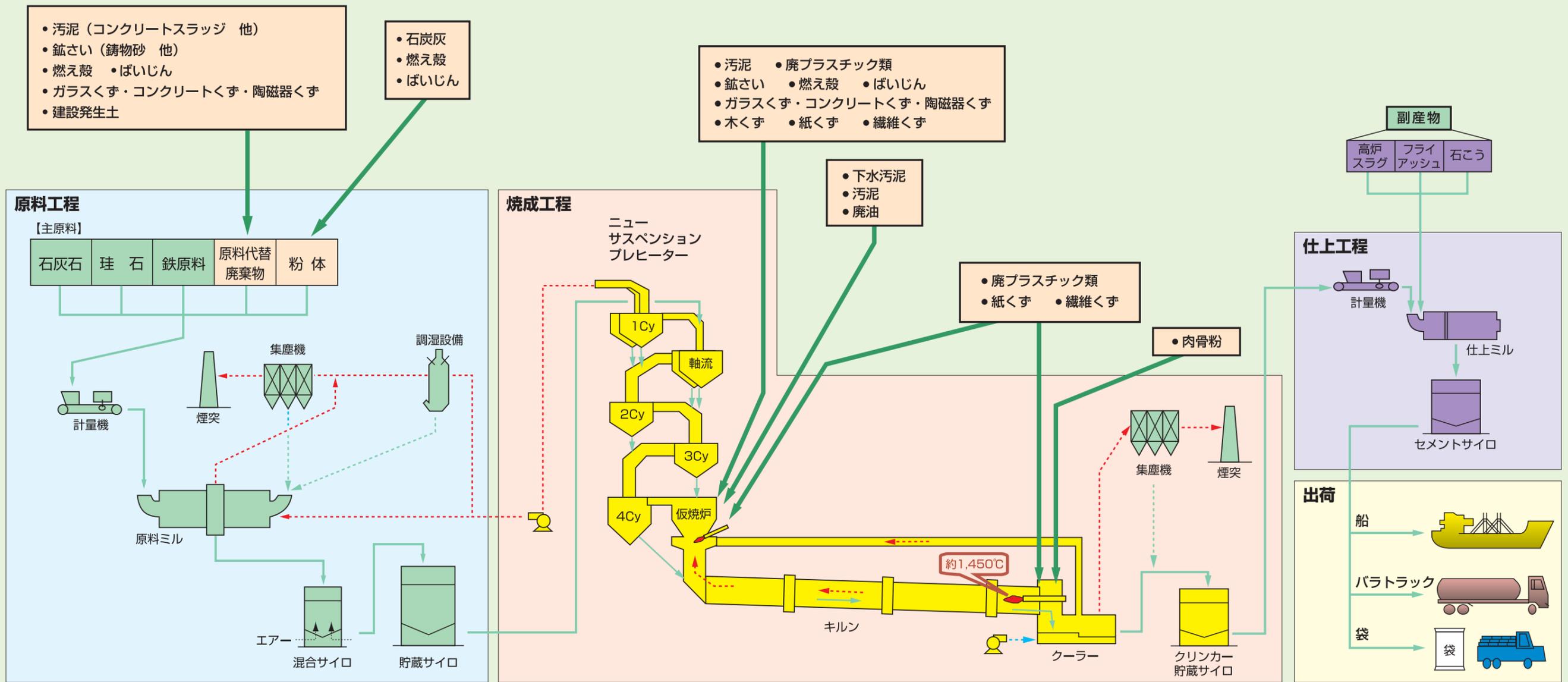
III. 有害物質は無害化されます。

- ① 有機物や臭気は、約1,450℃の高温域で完全に分解され無害化されます。

●リサイクル資源循環への足跡●

昭和29年	富士セメント(株)設立（現日鉄セメント(株)）
平成 4年	産業廃棄物処理業取得
平成10年	廃タイヤ投入設備導入（平成28年 廃止） ISO9002認証取得（平成15年 ISO9001-2000）
平成13年	ISO14001認証取得
平成14年	肉骨粉再生利用認定取得 肉骨粉投入設備導入 下水汚泥処理設備導入
平成18年	廃プラスチック類破碎・吹込処理設備導入
平成28年	燃料系汚泥、廃プラスチック類等の保管・混合・投入設備導入

リサイクル資源の再資源化フロー（セメント製造プラントでの再資源化）



石炭灰受入サイロ

下水汚泥処理設備

肉骨粉受入設備

リサイクル原料センター

ニューサスペンションプレヒーター

キルン



受入許可品目

産業廃棄物

① 焼却

- 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず

② 焼成

- 燃え殻、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、ばいじん

③ 破碎・選別

- 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず

許可番号 第00120047463号

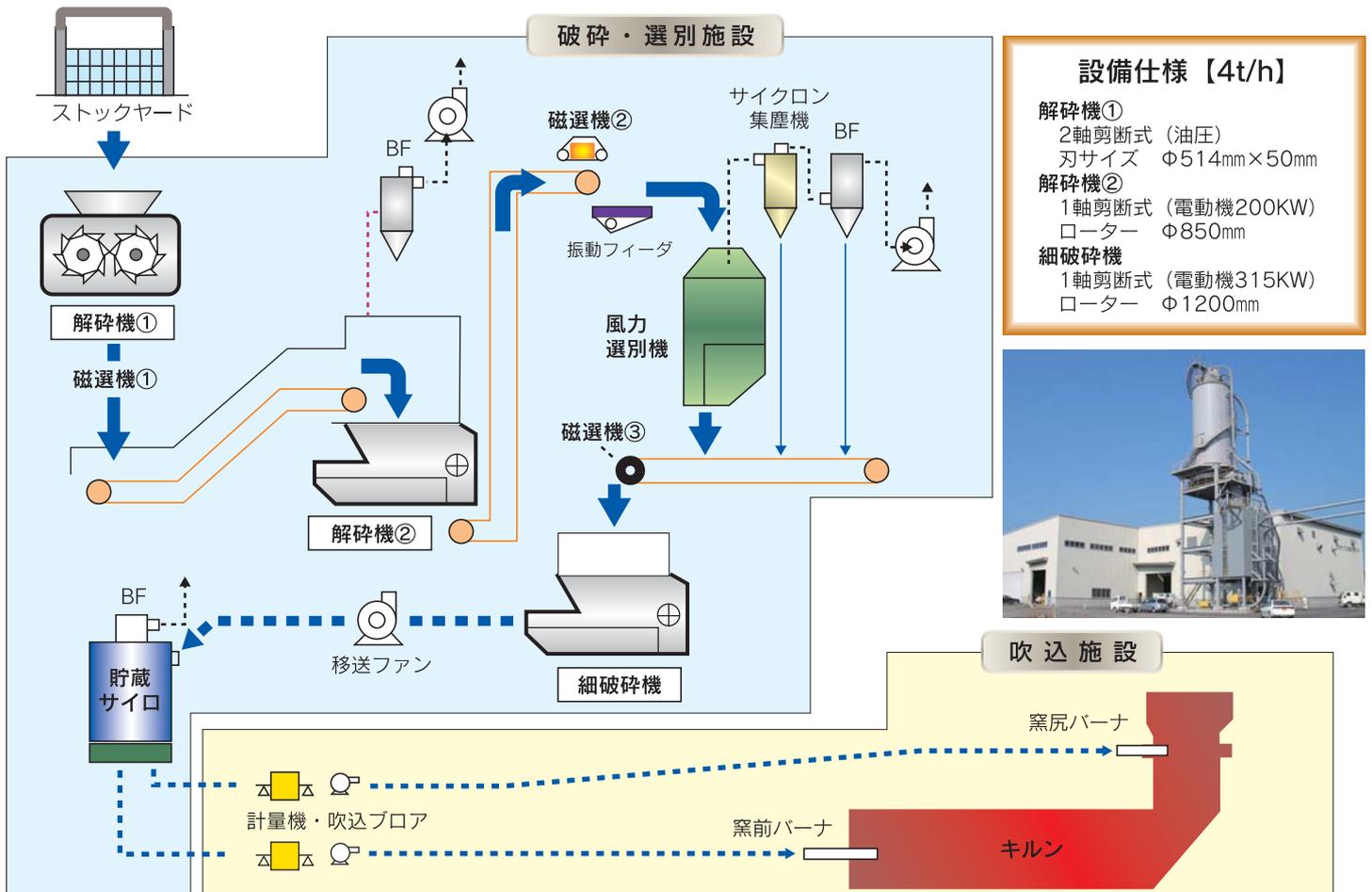
一般・産業廃棄物再生利用物

- 廃肉骨粉
- 廃プラスチック類
- 廃FRP船

その他

- 建設発生土

廃プラスチック類破碎・選別・吹込設備フロー





問い合わせ先

日鉄セメント株式会社

生産部 資源リサイクル課

■本社・室蘭工場 〒050-8510 北海道室蘭市仲町64番地
TEL (0143)43-2646 FAX (0143)45-3923
URL : <https://www.cement.nipponsteel.com>